



THE
ミズホ
ONLINE

緊急情報『高温対策』



MリンPK、スーパーMリンPK



出穂30日前の理想的な稲の姿

6月中旬に梅雨前線が一旦消えてしまい、夏の様相になっております。その影響で気温がグングン上がり、水稻では分けつスピードは上がっています。

しかし軟弱徒長傾向、一発肥の前倒しの懸念があり、倒伏の危険性が高まっております。

露地畑作でも同様で軟弱徒長傾向になり、作業が前倒しになって後手後手になりつつある現場も散見されます。このような状況で生育量に伴った光合成ができていないと、間延びした生長となり病虫害被害の拡大や、生産性の低下が心配されます。水稻、畑作、果樹、すべての作物にとって、如何に光合成量を増加させるかが、品質、収量を大きく左右しますので、光合成促進であるMリンPKを追肥して、これらの予防・対策を行ってください。

【水稻】10aあたり

- ・倒伏予防、軟弱徒長対策として
出穂45～40日前に、MリンPK 20～30kg
- ・一発肥の前倒し肥効による過繁茂、品質低下対策として
出穂25～20日前に、MリンPK20～30kg

【露地畑作】10aあたり

- ・軟弱徒長傾向の時の対策として、
MリンPK 20～40kg
- ・果菜類は定期的な光合成促進として、
MリンPK 20～30kgを15～30日おきに追肥
- ・窒素切れの予防として肥効の長い有機肥料を併用
アミビタゴールド 1本 かん水施肥
果菜類…アミビタゴールド 10kg かん水施肥、15日おき

【果樹】10aあたり

- ・落果予防、初期肥大促進、耐病性強化、品質向上として、
MリンPK 30～40kg
- 仕上げとして、収穫30～20日前に、MリンPK 20～30kg



株式会社 ミズホ

〒466-0807 名古屋市昭和区山花町64-1
TEL: 052-763-4171 FAX: 052-761-3771

Mail bio@mizuho.to



●資材紹介●

自家配合

MリンPK

(10:1)



お知らせ：Mリンのミズホでは皆さまの栽培投稿を募集しています。QRから投稿下さい。